

## 『子ども虐待の臨床 医学的診断と対応』 正誤表

---

いつも小社出版物をご利用いただき誠にありがとうございます。『子ども虐待の臨床 医学的診断と対応』に以下の誤りがございました。深くお詫びするとともにここに訂正いたします。

「第3章 周産期医療の虐待予防」P.295の表II-3-1が抜けていましたので、ここに掲載いたします。

表II-3-1 周産期にまつわる虐待リスクとなりうる要因

1. 妊娠前
  - 1) 結婚生活上の葛藤 marital conflict
  - 2) 妻または夫の精神疾患, 特にうつ病
  - 3) 妻または夫の成育史上の問題, 特に遺棄や虐待、別離
2. 妊娠中
  - 1) 望まない妊娠
  - 2) 胎児への愛着形成過程の阻害
  - 3) 母親の精神疾患
  - 4) 物質依存
3. 周産期・新生児期
  - 1) 母親のうつ
  - 2) 社会的なサポートのなさ
  - 3) 心身症的な訴え
  - 4) アルコール依存など
  - 5) 低出生体重児
  - 6) 10代の親

2007年6月現在